

もりほし通信

MORIHOshi NEWS 2025.3 Vol. 7

「盛岡という星でBASE STATION」で起こるさまざまな出来事や、周辺の情報、盛星プロジェクトに関するお知らせやクスツと笑える小ネタなど不定期で発行中。



〈特集〉

記憶のなかの盛岡 あの世界、あの味

昔からの建物も多く残っているけれど、日々少しずつ変化していく盛岡の町並み。フォロワーの皆さんに「思い出の盛岡スポットでのエピソード」を教えてくださいました。もう食べられないあの味、訪れることができないあの場所…。懐かしい記憶の中の盛岡と一緒に遡ってみましょう。

あの場所編

● 古着屋「ハンジロー」の本店は盛岡だったこと。「ハンジロー」の前はデブラスモンっていう、今あっておしゃれな古着屋。withビルに遊びに行ってたなー。

● 「ハンジロー」はめっちゃくちゃハイセンスなお洒落スポットの認識で、気合を入れておしゃれして買い物に行っていた。

● 「サティ」のゲーセンコーナー。ジャンケンマシンがお気に入りだった。

● 「ブルーハウス」は子供の頃お洒落で最先端な雑貨屋だと思っていて、家族で行くのが大好きでした。今あったら行ってみたい。

● 中華雑貨店「大中」中学生の頃大通へ友人と遊びに行く時必ず寄っていました。

● 岩手公園のいちばん上の本丸の、いちばん高いところにあったあずま屋。公園のてっぺん、「凌虚亭」という名前だった。

● 「エンドーチェーン」の一階にあった象？マンモス？

● 高松公園ができる前空き地だった時の馬の絵の壁。写真に収めておけばよかったと思います。

● やっぱり「盛岡バスセンター」ですかね！リニューアル後もとても素敵だけど、ちょっと寂しい気もしますね。

● 「アネックスカウトク」のからくり時計、無くなってしまいましたけど懐かしいです。

● 結婚式は開運橋たもとの「ホテルリッチ（のちルイズ）」でした。建て替わってダイワロイネートホテルですかね。駅前の変遷が著しいですね。

ランドマークなど

あの味編

食事処

● 岩手公園内「きんこんか」、東山「エビス亭」、長田町の「ビストロQ」、南大通「福富」、大通3丁目の「ベル」、本町通の「細川屋」、駅前「小岩井リグレ」、東仙北「aoi」…。

● 授業参観の日の帰りに家族で寄った「山賀屋食堂」（ローカルすぎてごめんなさい…）

● 旭橋のたもとにあった「夢風船」という小さな洋食屋さん。とても美味しくて、温かい雰囲気、大好きなお店でした。驚くのはその量!! Aサイズが一番小さいサイズだけど、当時小学生の私には多すぎて、「すごく少なく」と書いて注文していました。母と一緒に、「もう何も食べられない〜!」と言いながら帰路についた、なつかしい思い出があります。

● 菜園の「こう弥」の天むす定食。一人でご飯食べたい時の定番!

● 仙北町にあった、「こむらさき」という焼鳥屋さん。おいしかったです。子どもは入れなかったの、母といつも持ち帰り用を買っていました。

● 「ピラミッド」子どもだったから…。大人として行ってみたい。

● 今でも復活を願う大通の「サンマルク」。盛岡で一番落ち着く空間でした。ほんとに復活してほしい。

● 東仙北にあった「耶馬溪牧場」という焼肉屋さん。コスパもよくてよかったです。お肉も美味しいですが、豚汁がすごく美味しかったのをハッキリ覚えています…。

● 「キッチンたくま」の定食。美味しすぎて、メニュー全部制覇したね。

● 「石割桜」。メロンパンナチョコ〜いしわりざっくら〜この歌を定期的に思い出します。

● 「ブラッスリー ラ・セーズ」のパンナコッタ。いろいろおいしいんだけど、あの店は忘れられない。

● 名前を忘れたけれど、山岸や仙北の生協で冬におやきを売っていたおじちゃん。母が学生の頃から親子二代でお世話になっていて買いに行くと、いっぱいおまけてくれた。

● 紺屋町にあった「盛岡正食普及会」のロシアビスケッが、信じられないくらい固くて、美味しかった…。母が好きで、私も好きになりました。でも、閉店してしまい、食べられないです。名残惜しくていろいろ探していますが、あの固さのビスケットとはまだ出会えていないです。

● 紺屋町にあった中華まんのお店「点心伍十伍番」。恐らくご夫婦で営まれていて、手作りの餃子も。もちろん中華まんも手作り。部活終わりに友達と、よく寄って食べました。とくに五目中華まんが美味しくて、すごいいおきくて、たくさん具が入っていて、うずらの卵まで入っている、幸せがつまった中華まんです。もう食べられない、青春の味です。

● 上田の「美勝堂」の道明寺。頼むから、もう一回たべたいよ。

たくさんのご回答ありがとうございました！SNSのコンテンツ「もりほし調べ」でも不定期にアンケート回答を紹介していますので、ご覧ください。

菜園ごはん



食べ切りコラム

ランチメニューはいい。昼間の居酒屋や焼肉店あたりが特にいい。外の明るさのせいか、プロ野球で言えばオーブン戦くらいの気分で行けるのかもしれない。夜と違って心構えもゆるく、ふらっと出かけてランチセットひとつ。それくらいが昼休みにはちょうどいい。なんて油断していると現れるの、だ、ピカピカの冷麺様。創業半世紀超えの名店が投げ込む本気の豪速球。スープをひと口啜り、麺をほぐして持ち上げる。窓から差す陽光に、打ちたて麺が神々しい輝きで応える。う、うまい。いつもながらの老舗らしい端正な接客にも感動し、午後の仕事に3割増しに捗ってしまった編集部なのでした。

だいたいえん「大同苑 盛岡総本店」盛岡市菜園

U.M.S

Unknown Morioka Story

まちの雑学

盛岡城跡の本丸に、かつて南部利祥の騎馬像が置かれていた台座があるのは有名な話。では同じように、主のいない空の台座が高松の池にも存在するのを知っていますか？かつてこの台座には、盛岡市出身の自由民権運動家・横川省三の像が立っていました。ところが騎馬像と同じく、こちらでも戦争中に軍用の資材として提供されてしまったのです。そんな二つの像、実は石膏の原型が今も報恩寺の「鍔金原聖堂」に揃って収められています（騎馬像は馬の頭部分のみ）。ほかにも鍔型の大作・名作がいくつかが陳列されているので、かつての台座の上を想像しに訪れてみるのも面白いかもしれません。



鍔金の技に優れる盛岡の歴史が間近に感じられる貴重な品が並ぶ。中でもその大きさに圧倒される横川省三像はすごい迫力！

主のいないふたつの台座



盛岡という星でBASE STATIONの人々



もともと歴史好きだけあって、「盛岡もの識り検定」はみごと3級に合格！来年は2級を目指します。



3年が任期の「地域おこし協力隊」の活動も2年目に突入。「これからさらに自分のカラーを出していきたい!」

盛岡市地域おこし協力隊
あかさかかつら
赤坂桂さん

vol.8

Q. 協力隊の活動について教えてください

A. 高校生・大学生など地元の若者の探究活動や地域課題解決活動のサポートをしています。活動を通して盛岡への親しみ・愛着をもってもらえるよう、様々な相談に応じたりイベントを企画したりしています。

Q. BSでは他にどんな活動を？

A. 「盛岡もの識り検定」に向けて学ぶ「もりけん部」や、さんさ踊りにも初挑戦しました。（ねぶたの）青森出身なのでさんさにも興味津々でしたが、街全体が踊りの練習に打ち込むあの雰囲気には驚かされました。

Q. これからの盛星BSについて

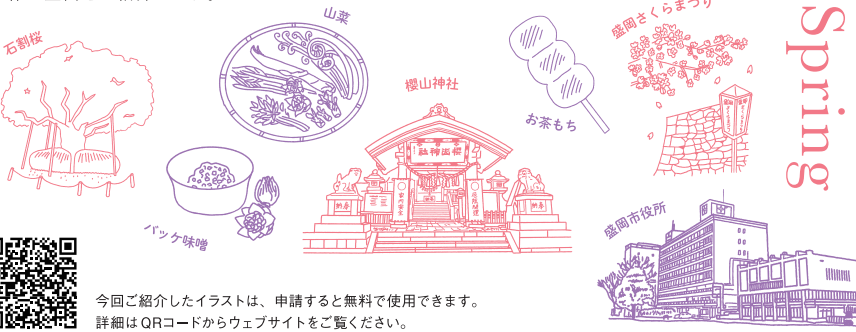
A. 演劇が盛んだったりにするよう、この街には何かをやろうとする人を応援する気質がありますよね。ここもそんな風に、一歩踏み出したい人を後押しできるような、人・物・事が集まる場でありたいと思います。

Q. 盛星メンバーとして一言どうぞ！

A. 盛星がアプローチしている「関係人口*」という概念。難しい言葉だけど、自分がそうだと知って街と関わると、それだけで来るのが楽しくなるというのを経験したので、そういう人を増やしていきたいです。

*「定住人口」でも、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の住人と多様に関わる人々のこと。

まちの文化と日常の盛岡の魅力を広く伝えるために作成した、シティプロモーション用のイラスト素材「盛岡絵図鑑」の中から、春の盛岡をご紹介します。



今回ご紹介したイラストは、申請すると無料で使用できます。詳細はQRコードからウェブサイトをご覧ください。

盛岡絵図鑑

Spring